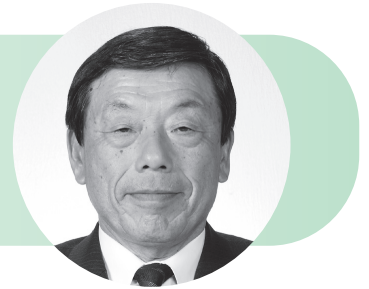


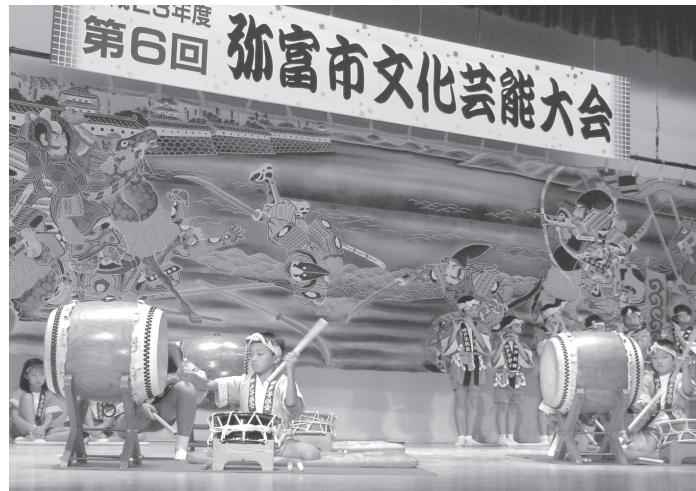
武田正樹 議員



伝統芸能を、今後とも続けていく方策は

問

伝統芸能について聞く。
 (1) 文化財保存会に加盟する地域は、何地域か。
 (2) 市文化芸能大会の参加地域は、21年度17地域、23年度14地域と、減っている。
 大会を盛り上げる企画はないか。
 (3) 伝統芸能を、今後も続けていく方策を聞く。



地域とよく話し合いたい

答 生涯学習課長

(1) 加盟団体は50地区で、神楽33、石取12、獅子舞等

11地区である。
 (2) 文化財保存会加盟団体は、報償費3万円を支出している。
 P Rを、海部地域の資料館等へチラシを配布したり、クローバーTVに依頼し、文字放送を行っている。

答 市長

(3) 各地域に伝える人がいるので、一度よく話をし、どう継承していくかを考えていきたい。

1億円支出バスの利用者増加を

問

「コミュニティバスについて聞く【関連記事9面】」。

(1) 乗車状況
 (2) 定期券販売状況
 (3) サイクル&バスライド駐輪場を4カ所設置したが、利用状況はどうか。
 (4) 23年度、1億3千533万円の支出で、大きな財政負担となっている。一日平均184人利用で、費用対効果の面から見れば余りよくない。
 市民の足としての重要性を考え、利用者を増やすにはどうしたらいいのか。
 (5) 時刻表の協賛広告は、何社応募があったか。
 (6) 公共交通は利用率が低ければ、なくしてもいいと

いうものではないが、今後の考え方を聞く。

調査を踏まえダイヤ編成を実施

答 防災安全課長

(1) 7月末現在で、2万2千689人(対前年比3.7%増)、一日当たり229人(同28%増)である。

(2) 7月末現在25万8千300円(同13%増)である。

(3) あまり利用されておらず、今後、一層のP Rが必要と思っている。

(4) 特効薬的なものはないのが現状である。現段階は、アンケートや乗降調査を中心にダイヤ編成を考えていることにとどまっている。

(5) 現在、バス(車両広告)とバス停に2社である。

増やさなければならぬと思うているが、協賛企業が少ない現状である。

答 市長

(6) 飛島村が行うデマンド方式を研究していきたい。